

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochemi.Biophys. Res.Commun	Effects of adiponectin on growth and differentiation of human keratinocytes -Implication of impaired wound healing in diabetes 374,269-273	河合 建一郎	形成外科
J.Craniofac.Surg	Leteral orbital expansion and gradual fronto-orbital advancement: an option to treat severe syndromic craniosynostosis 19,1622-1627	西本 聡	形成外科
J.Plast.Reconstr. Aesrhet. Surg	A new model of end-to-side nerve graft for multiple branch reconstruction:end-to-side cross-face narve graft in rats 61,1357-1367	垣淵 正男	形成外科
J.Neurosurg	Phase II clinical trial of Wilms tumor I peptide vaccination for patients with recurrent glioblastoma multiforme 108,963-971	泉本 修一	脳神経外科
Brain Tumor Pathol	Immunohistochemical analysis of adhesion molecules and matrix metalloproteinases in malignant CNS lymphomas: a study comparing primary CNS malignant and CNS intravascular lymphomas 25,73-78	泉本 修一	脳神経外科
Neuroimage	Fractional anisotropy and tumor cell density of the tumor core show positive correlation in diffusion tensor magnetic resonance imaging of malignant brain tumor 43,29-35	泉本 修一	脳神経外科
Int. Urol. Nephrol	Diagnostic efficacy of free to total ratio of prostate-specific antigen and prostate-specific antigen velocity, singly and in combination, in detecting prostate cancer in patients with total serum prostate-specific antigen between 4 and 10 ng/ml 40, 85-89	山本 新吾	泌尿器科
兵庫医科大学医学会雑誌	泌尿器科領域における腹腔鏡下手術-3Dバーチャル画像の臨床応用- 33,67-71	山本 新吾	泌尿器科
今日の移植	腎移植後の悪性腫瘍とPTLDアンケートによる症例調査とスクリーニングの状況 21, 279-284	野島 道生	泌尿器科
泌尿器科紀要	CTガイド下針生検で診断し得た特発性後腹膜線維症の1例 54, 497-500	長井 潤	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplantation	Malignancy after kidney transplantation in Japan 86,698	野島 道生	泌尿器科
Transplantation	Malignancy in kidney transplant recipients in Hyogo prefecture, Japan 86,699-700	野島 道生	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	腎動脈病変の血管形成術における仮想血管内視鏡の有用性 99, 309	野島 道生	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	陰茎癌症例における臨床的検討 99, 465	丸山 琢雄	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	浸潤性膀胱癌に対する動注化学療法・動注化学療法併用放射線療法による膀胱温存の成績 99, 469	丸山 琢雄	泌尿器科
日本小児泌尿器科学会雑誌	小児尿路結石140例の臨床的統計 17, 83	樋口 喜英	泌尿器科
移植	腎移植後患者に発生した悪性腫瘍の検討—多施設症例の集計— 43, 277	野島 道生	泌尿器科
日本生殖医学会雑誌	精液所見からみた男性不妊症治療の効果についての検討 53, 268	近藤 宣幸	泌尿器科
日本癌治療学会誌	前立腺密封小線源永久挿入療法の初期治療成績 43, 712	上田 康生	泌尿器科
日本癌治療学会誌	ホルモン抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル・エストラムスチン併用療法の治療成績 43, 719	鈴木 透	泌尿器科
眼科	ヒアルロン酸ナトリウムを分散安定化剤とするトラニラスト超微粒子懸濁液 50,455-459	岡本 紀夫	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosci.Lett	Cilostazol promotes survival of axotomized retinal ganglion cells in adult rats 436,116-119	樫本 良亮	眼科
日本味と匂学会誌	「日常のにおいアンケート」を用いた嗅覚評価 15,277-280	都築 健三	耳鼻咽喉科
頭頸部癌	頭頸部領域内における多重扁平上皮癌症例の臨床検討 34,71-74	寺田 友紀	耳鼻咽喉科
Otol. Neurotol	Long-term hearing outcomes after ossiculoplasty in comparison to short-term outcomes 29, 326-329	三代 康雄	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	Nizatidine enhances salivary secretion in patients with dry mouth 35, 224-229	任 智美	耳鼻咽喉科
Otol. Neurotol	The investigation of the recurrence rate of cholesteatoma using Kaplan-Meier survival analysis 29, 803-806	三代 康雄	耳鼻咽喉科
IVR	肺動静脈奇形に対するコイル塞栓術—治療成績と合併症を中心に— 23, 87-90	山本 聡	放射線科
Cardiovasc.Intervent.Radiol	Transcatheter coil embolization of splenic artery aneurysm 31,527-534	山本 聡	放射線科
Nihon Shoni Houshasen Gakkai Zasshi	The reversal sign on CT of hyper-acute diffuse traumatic brain swelling in an infant 24,73-77	石蔵 礼一	放射線科
臨床医薬	帯状疱疹患者の疼痛の経過に及ぼすバラシクロビル塩酸塩(バルトレックス)の効果 24, 321-335	村川 和重	ペインクリニック部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
慢性疼痛	帯状疱疹の長期予後を推測する 27, 67-71	中野 範	ペインクリニック部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	CI療法のわが国への導入 3-21	道免 和久	リハビリテーション部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	CI療法のメカニズムと検討課題 51-50	道免 和久	リハビリテーション部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	事例5:小児におけるCI療法の効果 116-130	竹林 崇	リハビリテーション部
CI療法 脳卒中リハビリテーションの新たなアプローチ	CI療法が変える日本のリハビリテーション医療 175-193	道免 和久	リハビリテーション部
総合リハビリテーション	新しい上肢運動機能評価法・日本語版Wolf Motor Function Testの信頼性と妥当性の研究 36, 797-803	道免 和久	リハビリテーション部
Biol.Blood Marrow Transplant	Unrelated umbilical cord blood transplantation using a TBI/FLAG conditioning regimen for adults with hematologic malignancies 14,896-903	藤盛 好啓	がんセンター
J.Gastroenterol	Gastroduodenitis associated with ulcerative colitis 43,193-201	堀 和敏	内視鏡センター
臨床細胞分子遺伝研究会	高齢者の遺伝カウンセリング	齋藤 優子	臨床遺伝部
J. Infect .Chemother	Guidelines for implementation of clinical studies on surgical antimicrobial prophylaxis 14, 172-177	竹末 芳生	感染制御部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biomed. Res	Possible involvement of put A gene in Helicobacter pyloricolonization in the stomach and motility 29,9-18	中嶋 一彦	感染制御部
日本外科感染症学会雑誌	病院全体を対象とした予防抗菌薬適正使用プロジェクトの実践.緑膿菌,メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の分離状況の変化 5, 107-114	高橋 佳子	感染制御部
日本外科感染症学会雑誌	心血管系外科領域手術における手術時予防抗菌薬としてのバンコマイシンの有効性の検討 5, 139-143	中嶋 一彦	感染制御部
Abstracts	Treatment experience of methicillin resistant staphylococcus aureus (MRSA) Infections undergoing hemodialysis (HD) 456	中嶋 一彦	感染制御部
Abstracts	Vancomycin(VCM)prophylaxis affected, but did not decreased the therapeutic use of methicillin-resistant staphylococcus aureus (MRSA) Drugs in cardiovascular surgery 465	中嶋 一彦	感染制御部
Abstracts	Impact of a hospital-wide heterogeneous antibiotic use on the development of antibiotic-resistant gram-negative organisms 480	竹末 芳生	感染制御部
Abstracts	Implementation of a hospital-wide project for appropriate antimicrobial prophylaxis 477	高橋 佳子	感染制御部
Abstracts	Therapeutic drug monitoring (TDM) does not work well to avoid moderate renal dysfunction in treatment with once-daily arbekacin for patients infected with MRSA 550	竹末 芳生	感染制御部
Abstracts	Teicoplanin(TEIC) lading dose for initial two consecutive days in the treatment of MRSA infections 551	竹末 芳生	感染制御部
Am.J.Gastroenterol	Dietary antigens in Croh'ns diseases:antibodies to porcine pancreatic amylase 103,654-664	福田 能啓	臨床栄養部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Shock	A role for IL-18 in Human Neutrophil Apoptosis 6,30	平田 淳一	救命救急センター
Am.J.Gastroenterol	Oral spherical adsorptive carbon for the treatment of intractable anal fistulas in Crohn's disease:a multicenter, randomized, double-blind,placebo-controlled trial 103,1721-9	福田 能啓	臨床栄養部
Helicobacter	Characterization and Application of a New Monoclonal antibody with High Specificity for Helicobacter hepaticus 14,66-71	福田 能啓	臨床栄養部

計 126件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 太城 力良
管理担当者氏名	管理課長 山口 勲、 医事課長 内藤 泰 病歴課長 由良 仁、 薬剤部長代行 西口修平

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約および入院診療計画書		管理課 病歴室 薬剤部	病歴資料のカルテは、入院カルテは1入院1カルテ、1患者1ファイル方式、外来カルテは科別カルテ方式とし、入院は永久保管、外来は8年間保管している、エックス線写真は、科別ファイル方式とし、入院、外来ともに8年間保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課	
	高度の医療の研修の実績	管理課	
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	地域医療・総合相談センター	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 多田 宏幸
閲覧担当者氏名	管理課長 山口 勲、医事課長 内藤 泰、病歴課長 由良 仁
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、病歴室閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.1%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	19,048人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,117人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,675人	
	D：初診の患者の数	35,098人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 23 及び第 1 条の 11 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (5名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (6) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① 安全管理体制の構築：委員会の運営、指針・マニュアルの改訂など ② 医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価 ③ 改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言 ④ 安全管理対策の実施状況の調査、分析 ⑤ セーフティマネージャーの活動支援 ⑥ 医療安全に関する職員への教育・研修の実施 ⑦ 医療事故への対応：届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析・再発防止策の検討及び立案、再発防止策の実施検証及び指導 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I. 医療安全管理の体制確保のための委員会の組織規約 <ul style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理規程 2. 医療安全管理委員会規程 3. 医療事故緊急対応部会内規 4. 医療事故等検討部会内規 5. 医療安全管理部運用内規 6. 医療安全管理者の業務指針 7. セーフティマネージャーの設置及び業務規程 8. 報告書類等 <ul style="list-style-type: none"> ① 事故等報告範囲 (日本医療機能評価機構への報告) ② 医療事故ならびにインシデントの影響レベル (報告時点) ③ 事実関係報告書 ④ 診療経過報告書 ⑤ 医療事故報告書 (日本医療機能評価機構用) ⑥ 事故発生届出書 ⑦ セーフティマネージャー選出届 ⑧ セーフティマネージャー変更届 	

- ⑨ 任命書
- ⑩ 通知書
- ⑪ 医療事故発生時の対応方法

II. 当院における医療安全管理体制図

- (1) 医療事故・インシデント発生時の体制図
- (2) 医療事故発生時の連絡網
- (3) 医療事故発生時の対応フローチャート（セイフティマネージャー・所属長）
- (4) 医療事故発生時の対応フローチャート（発見者・当事者）
- (5) 院内救急医療体制
- (6) インシデントレポートの流れ
- (7) 患者が死亡した場合の死亡後の手順
- (8) アクシデント発生時の対応

III. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について

IV. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 25 回
-------------------------	--------

・ 活動の主な内容：

- ① 医療安全管理委員会 12 回
- ② セイフティマネージャー連絡会 6 回
- ③ 医療事故等検討部会 2 回
- ④ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議 5 回

① 医療安全管理委員会の開催状況

<平成 20 年 4 月 8 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 4 月 15 日開催]

- ・ インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・ 医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・ 平成 19 年度 医療安全管理室 活動評価について
- ・ 平成 20 年度 医療安全管理室 活動計画について
- ・ 造影検査前のビグアナイド類糖尿病薬の検討ワーキングの中間報告
- ・ 薬剤情報に関する患者へのお願いについて
- ・ 医療安全ニュースのグループウェア活用について
- ・ 患者同士のトラブル対応について
- ・ 同意書の内容不備について
- ・ 大量出血時の緊急対応について
- ・ 感謝状の配布について

<平成 20 年 5 月 13 日>

- ・ インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討

- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・医療機器に関連したインシデントの分析について
- ・CVルート挿入時の合併症発生率の報告について
- ・待機的造影検査前のビグアナイド類糖尿病治療薬の内服中止についてのワーキング報告について
- ・医薬品投与に関する「PVCフリールート使用」「ポリカーボネート製器具の使用時注意」の情報表示について

<平成 20 年 6 月 3 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 6 月 17 日開催]

- ・医療事故等検討部会運用内規の改訂及び治験センター・セイフティマネージャーの委任について
- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・CVルート挿入時の合併症発生率の報告について
- ・医療安全全国共同行動への登録について
- ・画面における造影検査チェック項目の追加について
- ・医療機器のインシデント対策講習について

<平成 20 年 7 月 8 日>

- ・インシデント及び手術関連インシデントの調査報告について
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・医療事故発生後の対策についての検証報告
- ・「医療安全管理のための指針」改訂の検討について
 - 1) 医療事故・インシデント発生時の体制図、医療事故等検討部会内規の改訂
 - 2) 医療事故発生時の対応フローチャート、事実関係報告書の提出について
- ・造影検査における業務の変更について
- ・オンラインインシデント検討会について
- ・医療安全全国共同行動「キックオフフォーラム in 関西」の進行状況について
- ・患者プロフィール「医療安全課」ボタンの入力について
- ・氏名不明である患者の対応について
- ・次回の医療安全管理委員会、開催案内について

<平成 20 年 8 月 5 日>

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・医療事故等検討部会報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・医療安全全国共同行動「キックオフフォーラム in 関西」について
- ・医療安全ニュースの回覧について

<平成 20 年 9 月 16 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 9 月 16 日開催]

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・平成 20 年度 医薬品安全使用のための業務確認について
- ・医療安全強化月間の報告について
- ・当院のポリ塩化ビニール製 点滴チューブ類の安全面について
- ・平成 20 年度 医療監視及び近畿私大相互ラウンドについて
- ・医療講演会への参加、医療安全ニュースなどの安全情報の配信
- ・インシデントレポートの確認
- ・オンラインインシデント検討会の担当表について
- ・医薬品安全管理研修会の報告
- ・医療機器の再新について

<平成 20 年 10 月 7 日>

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・平成 20 年度 「医薬品の安全使用のための業務手順書」の改訂について
- ・AED、DC 設置場所の再検討について
- ・腰椎穿刺の同意書について
- ・医療監視について

<平成 20 年 11 月 4 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 20 年 11 月 18 日開催]

- ・医療安全管理委員会規程の改訂について
- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 「医療安全管理のための指針」「医療事故防止スタンダードマニュアル」の改訂について
- ・医療監視について
- ・近畿私大医療安全相互ラウンドについて

<平成 20 年 12 月 2 日>

- ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討
- ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について
- ・平成 20 年度 医療監視結果報告について
- ・平成 20 年度 近畿私大医療安全相互ラウンドについて
- ・術前指示票の改訂について

<p><平成 21 年 1 月 13 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 21 年 1 月 26 日開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討 ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について ・ポリ塩化ビニール製の経管栄養関連製品の安全性について ・医薬品の販売名の類似性等による医療事故防止対策の強化・徹底について ・注射処方箋の記載（表示）方法について ・医療安全全国共同行動「患者・市民の医療参加」について ・術前指示票の改訂について <p><平成 21 年 2 月 3 日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討 ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について ・医療機器・医薬品安全管理責任者の業務について ・医療事故発生後の検証報告について <p><平成 21 年 3 月 3 日> [②セイフティマネージャー連絡会 平成 21 年 3 月 17 日開催]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント検討会の結果についての報告・改善策の検討 ・医療事故緊急対応部会報告・医療事故報告について ・持参薬ワーキングの報告について ・平成 21 年度 医療安全管理委員会の運営について ・不妊治療について ・日本医師会「医療安全推進者養成講座」受講申込者について <p>③ 医療事故等緊急対応部会の開催状況</p> <p><平成 20 年 10 月 6 日、平成 21 年 3 月 4 日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故報告の対応について <p>④ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議の開催状況</p> <p><平成 20 年 6 月 19 日、8 月 14 日、10 月 6 日、平成 21 年 1 月 29 日、3 月 18 日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故等報告の対応について 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 38 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p><平成 20 年 5 月 28 日></p> <p>テーマ 「もう一度考えよう医療の安全と質！…必要な発想の転換」</p> <p>講師：日本医科大学 医療管理学 教授 長谷川 敏彦</p> <p>ビデオ補講計 7 回（平成 20 年 6 月 9 日 2 回、6 月 10 日 2 回、6 月 11 日 1 回、6 月 12 日 1 回、6 月 13 日 1 回）</p> <p><平成 20 年 10 月 23 日></p> <p>テーマ 「院内暴力について」</p> <p>講師：井上法律事務所 弁護士 井上 清成</p>	

<平成20年10月29日>

テーマ 「麻薬の適正な取扱いについて」

講師：兵庫医科大学病院 薬剤部 濱口 常男

テーマ 「スタンダードプリコーションの徹底 -新しいガイドラインから-」

講師：兵庫医科大学病院 感染制御部 一木 薫

ビデオ補講計6回（平成20年11月4日1回、11月5日2回、11月6日2回、
11月7日1回）

<平成21年2月18日>

テーマ 「患者と医療者を結ぶコミュニケーション」

講師：東京医科歯科大学大学院 医療政策講座

元ジョンズ・ホプキンス大学病院 国際部パーシエント・アドバイザー
ヘルスケア・コミュニケーション・スペシャリスト 岡本 左和子

ビデオ補講計8回（平成21年2月23日2回、2月24日2回、2月25日2回、
2月26日2回）

<平成20年10月14日>

テーマ 「医療訴訟ガイダンス」

講師：神戸地方裁判所 裁判官 角 隆博 他6名

ICLS実習（卒後臨床研修センターコース、看護部コース）

5月31日（土） 受講者 15名

6月22日（日） 受講者 15名

9月13日（土） 受講者 17名

10月11日（土） 受講者 17名

11月16日（日） 受講者 17名

12月 6日（土） 受講者 17名

2月11日（水） 受講者 18名

BLS講習会

6月12日（木）13日（金）平成20年度新規採用看護師 122名

9月25日（木）26日（金）平成19年度中途採用看護師 16名

3月13日（金）平成20年度中途採用看護師 21名

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ・ 無 ）

・ その他の改善のための方策の主な内容：

① 発生したインシデントに対して、統括・専任セイフティマネージャーが発生部門セイフティマネージャーとともに内容分析、改善策の検討並びに患者への対応の指示を

行なっている。また、医療安全管理委員会委員及びセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、各部門に改善策の指示を行なうことにしている。なお、必要に応じて「医療事故等検討部会」を開催し、医療事故等の原因を分析し、改善策の検討を行なっている。

- ② 報告のあった医療事故に対し、医療安全管理委員会等で原因を分析し、対応・改善策の検討を行っている。また、事故発生1ヵ月後・3ヵ月後に統括・専任マネージャーと当該部署のセイフティマネージャーで、改善策の実施状況を検証し、医療安全管理委員会に報告している。
- ③ 発生したインシデント・アクシデント内容からテーマを設定し、医療安全強化月間に各部署のセイフティマネージャーと協働して、カルテ監査・カンファレンスなどを行っている。
- ④ 事故後の改善策や医療安全情報が全部署のスタッフに周知できているかを検証する目的で、年1回、医療安全管理委員・セイフティマネージャーが多職種でチームを組み、全部署の相互ラウンドを行っている。
- ⑤ 医療安全ニュースを月2回発行し、事故後の改善策を再周知している。
- ⑥ 職種別研修でも当院で発生したインシデント・アクシデントを教材にしている。

<具体的方策>

- ① 医療事故防止スタンダードマニュアルの見直し
- ② 造影検査前のビッグアナイド類糖尿病薬の内服中止の説明と同意書作成
- ③ ポリ塩化ビニール製（可塑剤 DEHP）輸液ラインの変更
- ④ 名称類似薬の一部切り替え
- ⑤ CVカテーテル挿入に関する調査票の改訂
- ⑥ 持参薬ワーキングにて術前中止薬剤のリストを作成
- ⑦ 術前指示票の改訂（継続中） など

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 感染管理体制（感染管理機構、専任感染管理担当者の役割について、感染制御部へのコンサルテーション）</p> <p>② 感染症発生時の報告と解除（院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の報告（緊急連絡を要する微生物検出時含む）、感染症法に基づく届出及び院内の感染症報告書が必要な疾患、感染解除報告）</p> <p>③ 病院感染管理上重要な病原体・感染症に対する感染制御部の対応</p> <p>④ アウトブレイク発生時の対応</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 34 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行するうえでの知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>① 病院感染制御をテーマとする講演会を開催（全職員対象と臨床研修医対象）</p> <p>② 看護師ラダーレベル別研修、リンクナースを対象とした感染制御に関する研修を実施</p> <p>③ 臨床工学技士、薬剤師等コメディカルを対象とした感染制御に関する研修を実施</p> <p>④ 清掃職員（委託業者）を対象とした病院感染制御の基本について研修を実施</p> <p>⑤ 院内感染の増加が疑われた場合、または確認された場合は、施設全体または部署や職種を限定して院内感染対策に関する教育・指導を実施</p> <p>⑥ 手洗い実技指導（各部署）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （☑・無）</p> <p>感染症発生時は「院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の流れ」に沿って感染症報告書により報告を行う。（緊急連絡を要する場合は先に電話で連絡）感染症が改善した場合は「感染解除報告」に沿って感染症解除報告書を提出する。</p> <p>報告すべき感染症は、感染症新法、結核予防法、食品衛生法にもとづく疾患および院内感染管理上迅速に対策を行う必要があるものとする。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症発生にかかる報告、連絡があった事例は、「感染症または病原体の検出種類によるレベル分類」に基づき感染制御部が対応し、必要があれば感染対策委員会で審議しついで対策を講ずる。</p> <p>また、アウトブレイクを疑う事例が発生した場合、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応し、アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部は感染対策委員会委員長に報告し、臨時の委員会を開催し対策を協議する。</p> <p>患者個々の抗菌薬治療に関して、主治医からのコンサルテーションにより感染制御部と協議する。</p> <p>抗緑膿菌活性を有するカルバペネム系、ニューキノロン系、第4世代セファム、βラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン、その他の各抗菌薬の使用量をAUDで調査し、使用割合を各10～20%でコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進する。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： (研修医科エンターション)：医薬品の適正使用と医薬品の安全使用のための業務手書について説明 (平成20年4月4日実施) (病院全職員対象講演会)：「麻薬の適正使用について」と題して講演(平成20年10月29日実施) ⇒麻薬関連事故と訴訟の実態および麻薬の適正使用の重要性と業務手順書についての内容説明 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (☑・無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院で用いる医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6. 他施設との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況：	
<p>原則4病棟に1カ所の病棟薬局を設け、薬剤管理指導業務を実施。原則として薬剤師が月1回全ての診療科・病棟を訪問し医薬品の点検管理を行っている。また、院内全施設を対象に医薬品の安全使用のための業務手順書の遵守状況を自己点検している。毎月D I ニュースを発行している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：医薬品情報担当者から各社の医薬品情報の変更内容等の資料及び説明を受けている。インターネット等を利用して医薬品情報の入手に努めている。また、J A P I Cと契約し、定期的に医薬品情報を入手している。 ・ 院内医薬品集を定期的に発行する(平成20年7月 医薬品集第11版発行)とともにし、学内イントラネットを通じて院内医療従事者に情報提供している。また、特に注意を要する医薬品については「要注意医薬品の取扱手引き」をまとめて使用者に注意を喚起している。さらに、病棟薬局の薬剤師を通して緊急安全性情報等について関連の診療科・医師に提供している。 ・ 病棟薬局及び薬剤部製剤室にて薬剤師が注射薬の混合調製業務を担当し、がんセンターでは薬剤調製室を設置し、医師と連携しレジメン及び薬歴の点検後に抗がん剤の調製業務を実施している。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年41回
<p>・ 研修の主な内容： 以下の機器の取り扱い方法・安全対策について研修を行った 人工呼吸器・ペースメーカー・血液浄化装置・除細動器・補助循環装置・輸液ポンプ・シリンジポンプ 放射線機器 等</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容： 以下の装置に対しては定期点検を実施している 人工呼吸器・血液透析装置・血液浄化装置・補助循環装置・保育器・麻酔器・体外式ペースメーカー 輸液ポンプ・シリンジポンプ・除細動器・電気メス</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： AED日常点検の依頼 輸液ポンプの事故に対する情報提供 スピーチカニューレを誤接続防止タイプに変更</p>	